

障がいのある子どもと家族の支援のための

チャリティー

うやずんやあと

Vocal 豊田チカ & 小山太郎トリオ

曲目：月の砂漠・ジャニーギター・New York State of Mind・イエスタディ 他

2013年9月22日(日)

15:30開演 (15:00開場)

宇都宮共和大学長坂キャンパス 須賀友正記念ホール

〒321-0346 栃木県宇都宮市下荒針町長坂3829

全席自由 一般1000円・学生500円

主催 宇都宮共和大学子育て支援研究センター・宇都宮短期大学地域福祉開発センター
共催 特定非営利活動法人「うりずん」
後援 栃木県、宇都宮市、宇都宮市社会福祉協議会、宇都宮市障害者福祉連合会、
宇都宮市ジャズ協会、下野新聞社、とちぎテレビ、栃木放送、エフエム栃木

★ お問い合わせ 宇都宮共和大学長坂キャンパス FAX 028-649-0660(代)
E-mail tiny@kyowa-u.ac.jp

- ★ お願い
- 就学前のお子さまのご入場はご遠慮ください。
 - 開演5分前にはご着席ください。
 - 都合により曲目が変更になる場合がありますので、予めご了承ください。

宇都宮共和大学 子ども生活学部

株式会社 悠工房
presents!!

出演者プロフィール

豊田チカ (vocal)

1961年東京生まれ。父は大橋巨泉、母はマサ三宅。1989年1stCD『So in love』を発表。活動の場を海外に広げ、アボ劇場ニューボートジャズフェスティバル、モントレージャズフェスティバル等に出演。1997年より「チャリティ/世界の子供たちのためのコンサート」を主催し、2011年4月より「ベイFMで東日本大震災による被災地支援のジャズ番組「Journey to the future」のDJを1年間務める。2013年10月CD『Dream 巨泉 with Chika』を発売予定。

<http://chikajazz.com/>



田中裕士 Hiroshi Tanaka (Pf)

1963年生まれ。5歳よりPiano Lessonを受ける。16歳よりJazzを学び、19歳でプロデビュー。アメリカ・スเปนに修行留学。近年はJazz~Flamenco界を股にかけ先進的、独創的演奏で国内外のファンを魅了し続ける国際的ピアニスト。そのプレイは広範多岐な音楽要素を巧みに統合、融合したものと見える。

<http://www.hiroshi-tanaka.com/>



小山 太郎 Taro Koyama (drums)

栃木県出身。西直樹(p)トリオでデビュー。1980年代半ばから日本有数のジャズ・ドラマーとして活躍。渡辺貞夫(as)等のグループを経て、1999年に渡米。2013年2月に『BEAT THE BLUES』をリリース。WebマガジンJazz Page人気投票では2000年・2005年度ドラム部門1位。現在は自己のグループを核に精力的に活動。横浜ジャズ・プロムナードコンベンション審査員。昭和音楽大学非常勤講師。



生沼 邦夫 Kunio Oinuma (bass)

1967年栃木県生まれ。中学生よりロックバンドのドラムを始め、埼玉大学モダンジャズ研究会時代にベースに転向。その後ベースを鈴木良雄氏に師事する。野本晴美(p)トリオ等でプロ活動をスタートし、峰厚介(sax)、山口真文(sax)、辛島文雄(p)、大隅寿男(ds)、平賀マカ(vo)らと共演を重ね、現在は主に、小山太郎(ds)、里美紀子(vl)、板垣光弘(p)のグループ等で活動中。



「Tiny」 「障がいのある子どもと家族を支援するチャリティー・ジャズコンサート」のご案内

宇都宮共和大学子育て支援研究センター

宇都宮共和大学子ども生活学部では、実践力に優れた保育者の養成と子どもが健全に育つ社会環境についての教育研究を行っております。大学附属の研究機関である子育て支援研究センターの研究グループ「Tiny」は、「子どもの育ちと保護者・保育者の子育て・保育」の支援を目指して、社会貢献活動として「障がいのある子どもと親のためのあそびの集い」等を継続して開催しています。

この度、こうした活動にご賛同いただいたジャズ・シンガー豊田チカさん、本県出身ドラマーの小山太郎氏らのご協力により、一般市民の皆様を対象に「チャリティー・ジャズコンサート」を企画いたしました。一流の演奏家によるジャズを楽しみつつ、障がいに関する理解を深め、障がいのある子どもと家族が地域でいきいきと暮らせるよう、支援の輪を広げることを目的としております。

収益金は全額、特定非営利活動法人「うりずん」と宇都宮市社会福祉協議会に寄付し、地域での障がい児と家族の支援及びレスパイトケア運営の資金に充てさせていただきます。多くの皆様のご来場をお待ちしております。

「Tiny」について

「障がいのある子どもを育てることは大変なこともあるけれど、いいこともたくさんあって、応援団もこんなにいますよ!!」って伝えたい、私たちも共に育ち合いたい…。そんな思いから出発した活動。

Tinyは、宇都宮共和大学子ども生活学部の教員が宇都宮短期大学音楽科の教員と共に活動を始めた、障がいのある子どもと家族を支援するためのグループです。この活動には、多くの学生や卒業生がボランティア(Tiny隊)として参加しています。私たちは、障がいのある幼少期の子どもたちとその家族が、自分らしくのびのびと遊べたり、楽しんだり、くつろげたりする場として、各教員の専門性を生かした遊びの集いを行っています。依頼があれば、特別Tiny隊を組んで出張訪問もしています。多くの方々に障がいのある子どもやその家族のことを知っていただき、応援団に加わっていただきたくて、このコンサートを企画しました。

「うりずん」について

重い障がいや病気を抱え、医療に頼らなければ命をつなぐことが難しい子どもたちがいます。支援体制が極めて不足している現状で、その子が当たり前の遊びや学び、外出等をするには大変高いハードルがあり、家族は24時間体制で重い介護負担を抱えます。そのような家族と子どもが、当たり前の暮らしと自分らしさを手に入れるためのお手伝いができるよう、特定非営利活動法人うりずんでは、日中のお預かり事業(日中一時支援)とホームヘルプ(居宅介護)を行っています。マンツーマンに近い人員が必要であり、経営はなかなか安定しません。事業の安定的継続のため、たくさんの方からご理解とご支援をいただいています。

★チケット購入について

【郵送】または【当日までのお取り置き】ができます。郵便振替で、通信欄に必要事項(住所・氏名・連絡先電話番号・郵送か取り置きか)を明記、下記へ参加費をお振込みください。

記号10770 番号1293701 受取人: ツチサワ カオル (ゆうちょ以外からお振込みの場合、振込先はゆうちょ 店名〇七八 普通預金 0129370で、【取り置き】扱いのみです)

★連絡・お問い合わせ先

Fax: 028-649-0660 E-mail: tiny@kyowa-u.ac.jp 担当: 土沢 (宇都宮共和大学)

